
中国信息（WTO/FTA・貿易・安全・その他）

2009年10月1日号

◎2009年8月における中国の大豆市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2009年8月における大豆市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

1 国内大豆価格は穏やかな上昇基調

2009年8月は、国際大豆価格上昇、国家備蓄競売価格上昇等の影響を受け、国内大豆価格は安定のなか上昇基調となった。黒竜江地区国産大豆油工場買上価格は、1トン当たり3,577元、前月比1.0%高、前年同月比16.0%安、山東地区国産大豆工場買上価格は同3,700元で前月並み、前年同月比18.1%安、山東地区四級大豆油の工場出荷価格は、同7,179元で前月比8.0%高、前年同月比18.3%安、中等大豆粕の工場出荷価格は3,484元で、前月比5.0%高、前年同月比11.9%安となった。

2 国際大豆・大豆製品価格は再び上昇

世界的な大豆在庫量の逼迫、米国の霜害、生育への懸念、原油価格上昇等の影響を受け、8月の国際大豆・大豆製品価格は前月の下落後、再び上昇した。

米国シカゴ先物取引所（CBO）の大豆価格は1トン当たり370.2ドル、前月比6.4%高、前年同月比21.7%安、大豆油は同825.9ドル、前月比8.0%高、前年同月比30.4%安、大豆粕は同335.3ドル、前月比3.4%高、前年同月比10.8%安となった。

3 輸入大豆価格（通関後価格）と国産大豆価格の価格差は安定

2009年8月は、山東地区輸入大豆価格（通関後価格）は1トン当たり3,697元と、当地の

国産大豆価格との価格差は安定している。メキシコ湾でのFOB価格では同437ドル（2,985元）と、山東地区国産大豆買上価格を（前月並の）同715元下回った。

4 7月の大豆輸入量は前月比減少、前年同月比増加

海関統計によれば、7月の大豆輸入量は439万トン、前月比6.7%減、前年同月比25.3増、2009年1～7月累計では、大豆輸入量が前年同期比27.7%増の2,648万トンで、主要輸入先国である米国が47.4%、ブラジルが39.4%、アルゼンチンが11.1%を占めた。また、大豆油の輸入量では、同15.6%減の124万トンで、主要輸入先国であるアルゼンチンが78.7%、ブラジルが17.0%を占めた。

5 2009/10年度世界大豆生産量は増加

FAOの6月の予測では、南米における大豆大幅減産により、2008/09年度の世界大豆生産量が、当初予測された対前年1,740万トン増産が800万トン減産（3.64%減）すると見込まれ2.12億トンとなったことから、世界的な大豆供給がタイトになった。この価格上昇を受け、2009/10年度の世界大豆生産量が増加することは明らかである。